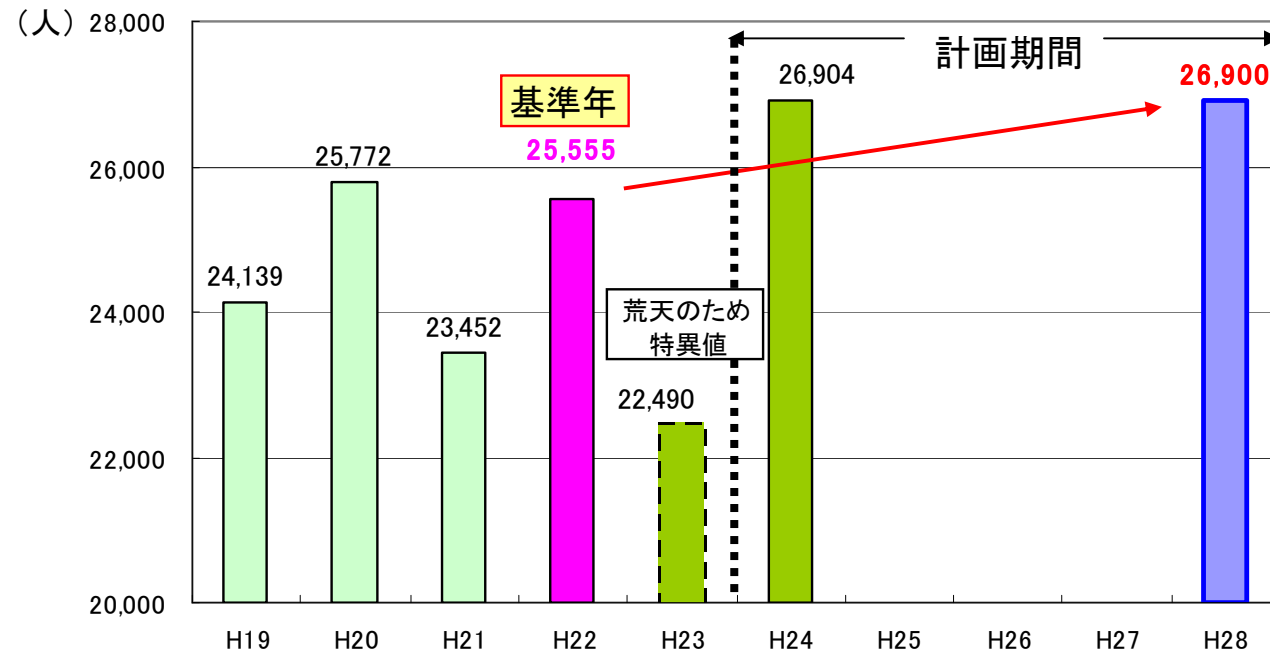


# 目標① 「訪れたいまち」の数値目標

## 「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量(人/日)」

調査日:10月第3日曜日 午前8時～午後6時(平成24年10月21日)



基準数値  
(H22年度)  
25,555人



最新値(H24年度)  
26,904人  
基準比+5.3%、+1,349人



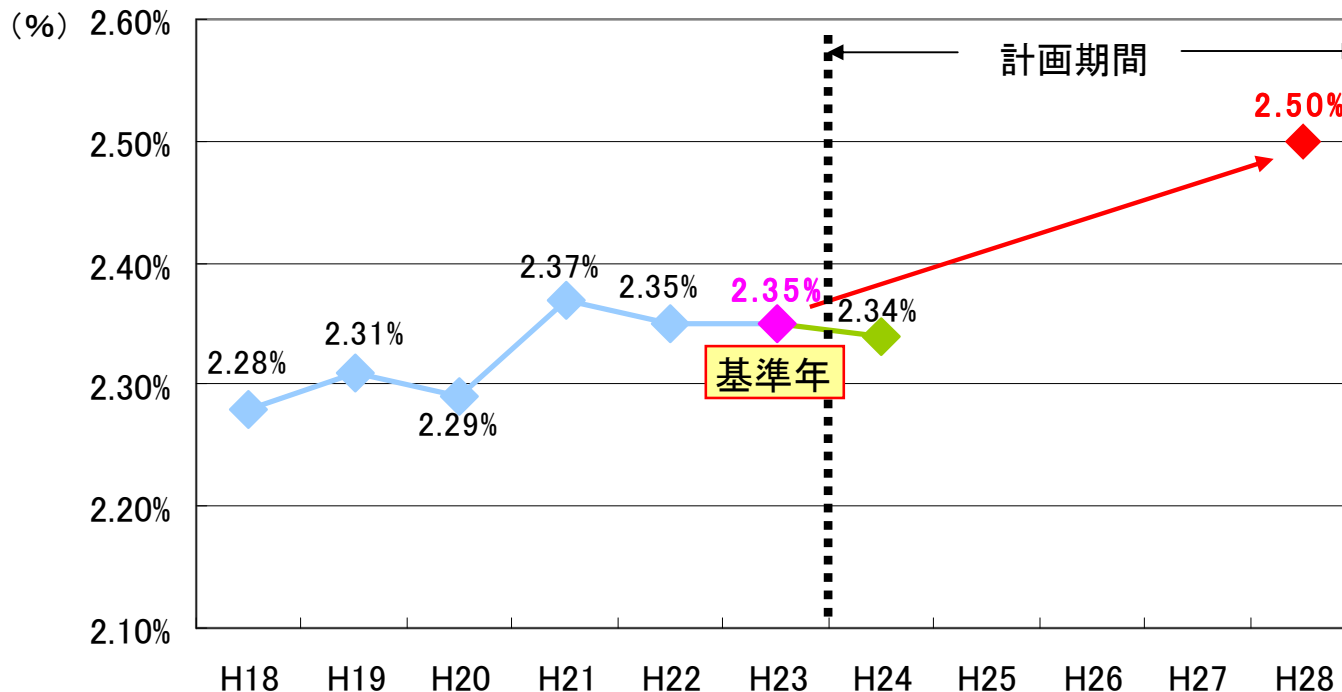
目標値  
(H28年度)  
26,900人

- ・善光寺周辺地区に魅力的な歴史的景観が創出(建物修景、道路美装化等)
- ・長野駅・善光寺間の移動の利便性が高まった(「ぐるりん号」の増便等)

## 目標② 「住みたくなるまち」の数値目標

### 「長野市全体における中心市街地の人口割合(%)」

調査日：各年度10月1日現在の居住者数



基準数値  
(H23年度)  
2.35%

最新値(H24年度)  
2.34%  
基準比 $\Delta$ 0.01%

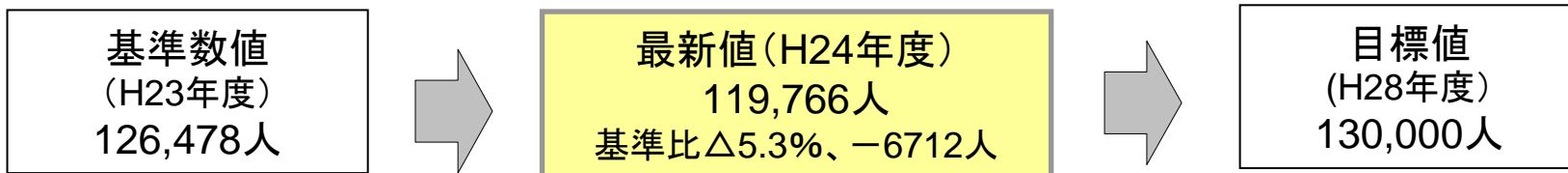
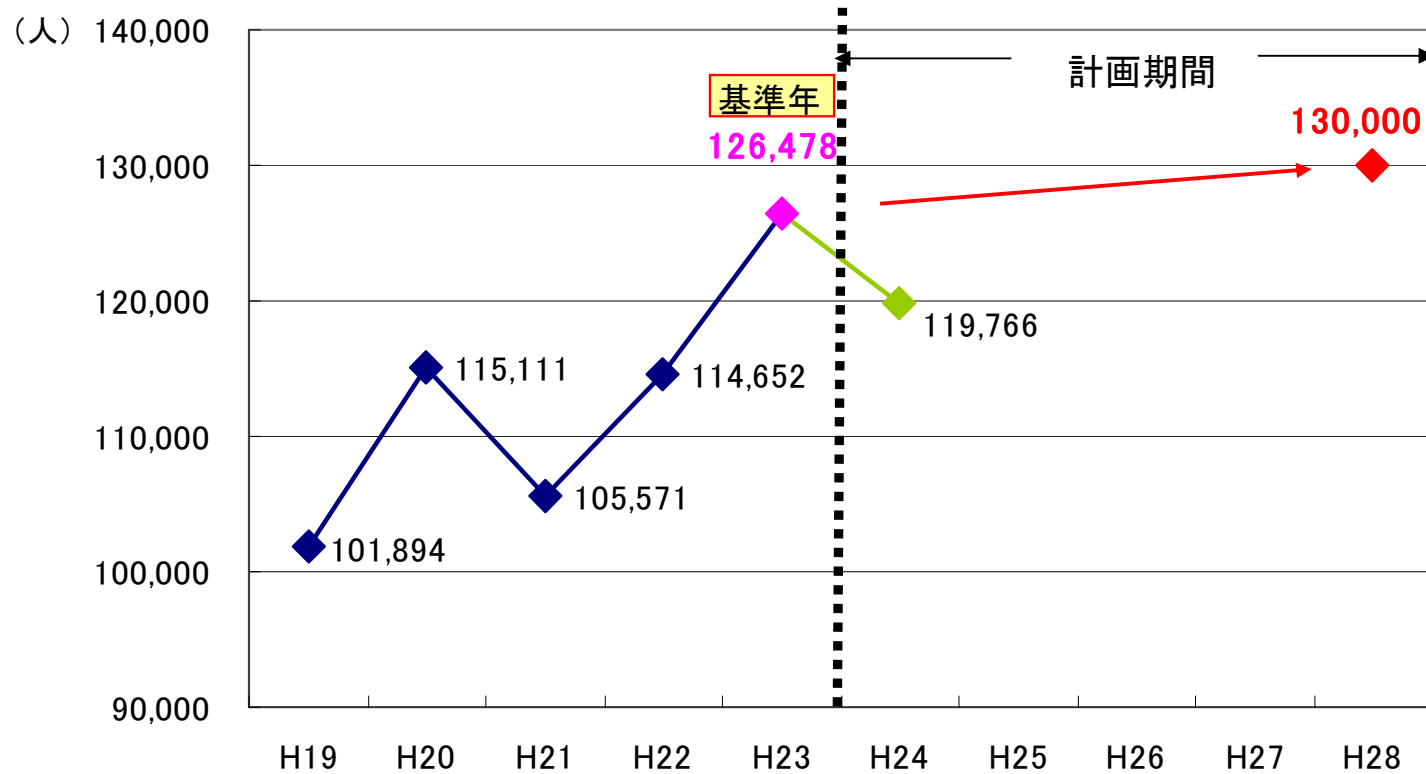
目標値  
(H28年度)  
2.50%

- ・ H24年度 実績に反映していないが、12月鍋屋田小学校北のマンション入居開始 (88戸)
- ・ H26年度 「権堂B-1地区市街地再開発事業」によるマンション整備 (82戸)

# 目標③ 「歩きたくなるまち」の数値目標

## ③-1 「中心市街地(6地点)の歩行者・自転車通行量(人/日)」

調査日:9月第1金曜日 午前8時~午後8時(平成24年9月7日)

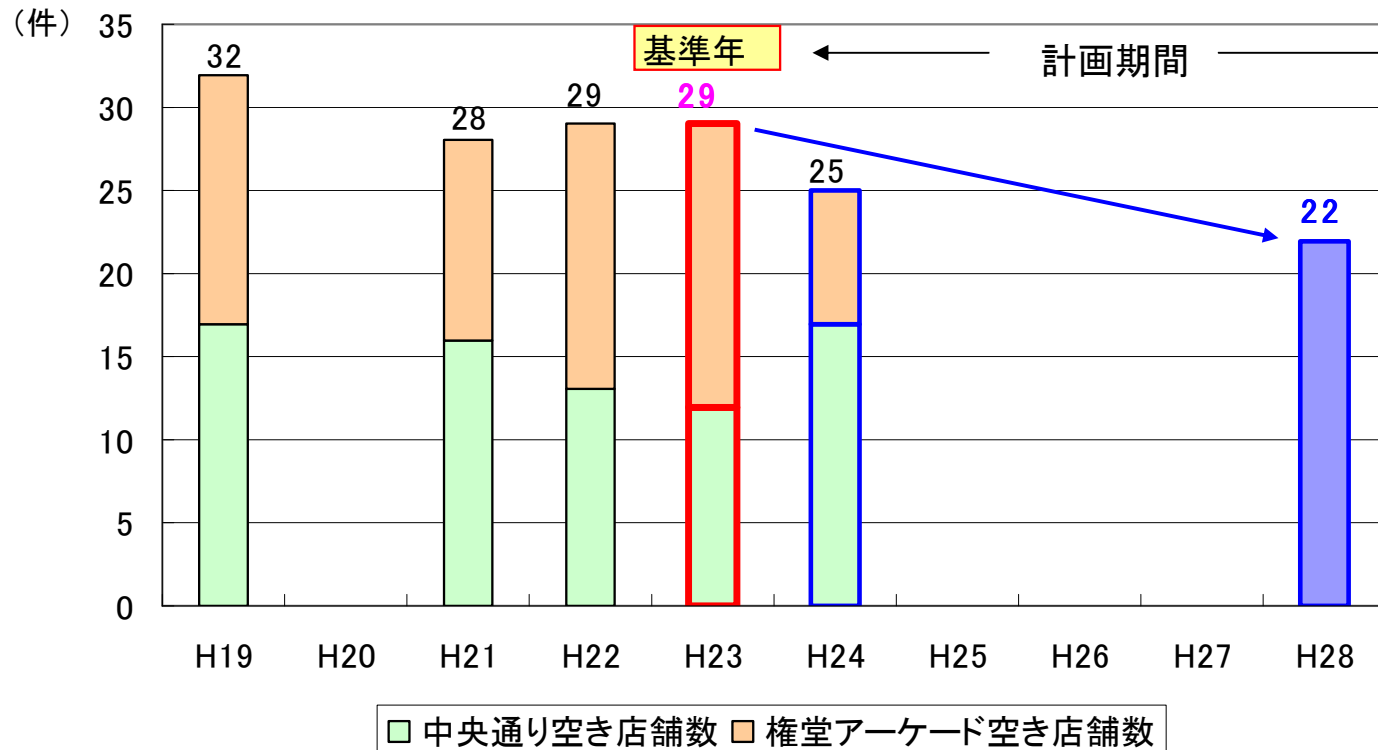


①中央通り歩行者優先道路化事業 ②長野駅前の整備 ③権堂地区の市街地再開発等 完了後のH26年度以降に効果が現れるものと期待

# 目標③ 「歩きたくなるまち」の数値目標

## ③-2 「空き店舗数の減少(件)」

調査日:各年度11月現在 中央通りと権堂アーケード沿いの1階部分の空き店舗数



基準数値  
(H23年度)  
**29件**

最新値(H24年度)  
**25件**  
基準比△13.8%、-4件

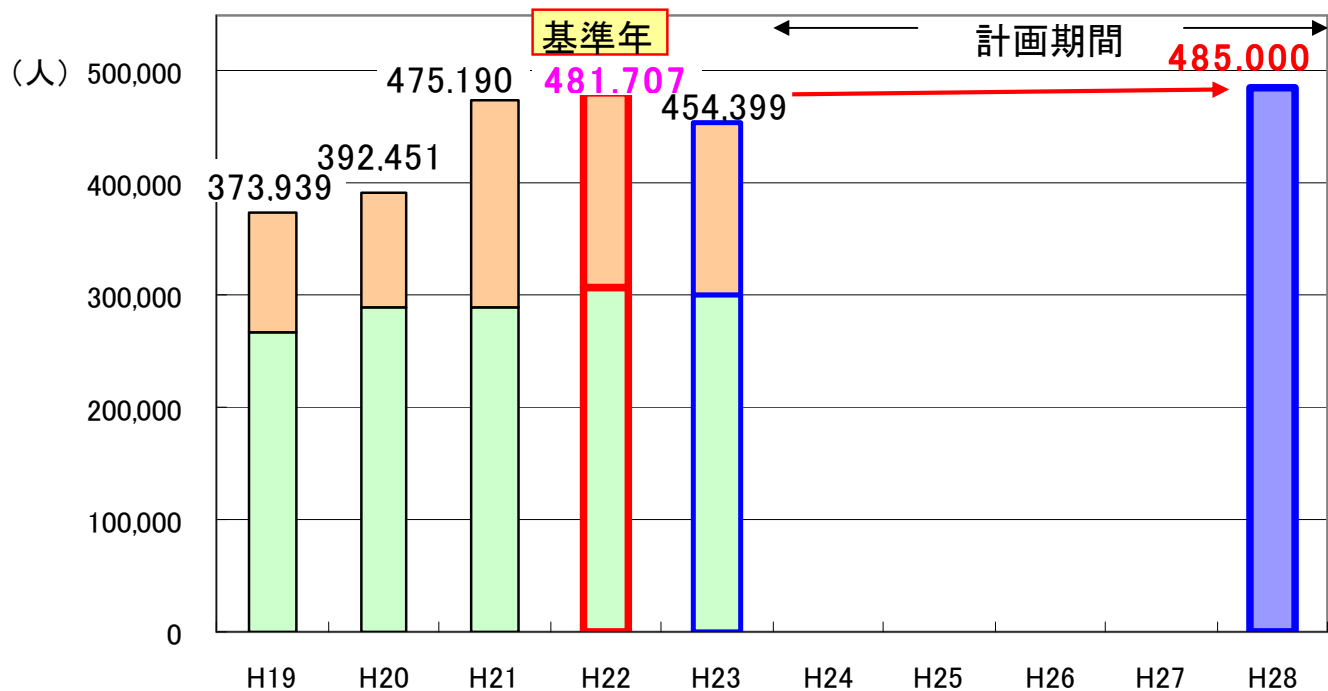
目標値  
(H28年度)  
**22件**

- ・ 中央通りの空き店舗増加は、事業所個々の要因
- ・ 権堂の空き店舗減少は、権堂再生に向けての取組みの効果（空き店舗対策、情報発信など）

## 目標④ 「参加したくなるまち」の数値目標

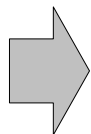
「もんぜんぷら座及び生涯学習センターの年間利用者数(人/年間)」

調査日:各年度3月末現在の利用者数

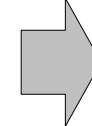


□もんぜんぷら座 □生涯学習センター

基準数値  
(H22年度)  
481,707人



最新値(H23年度)  
454,399人  
基準比-5.7%、-27,308人

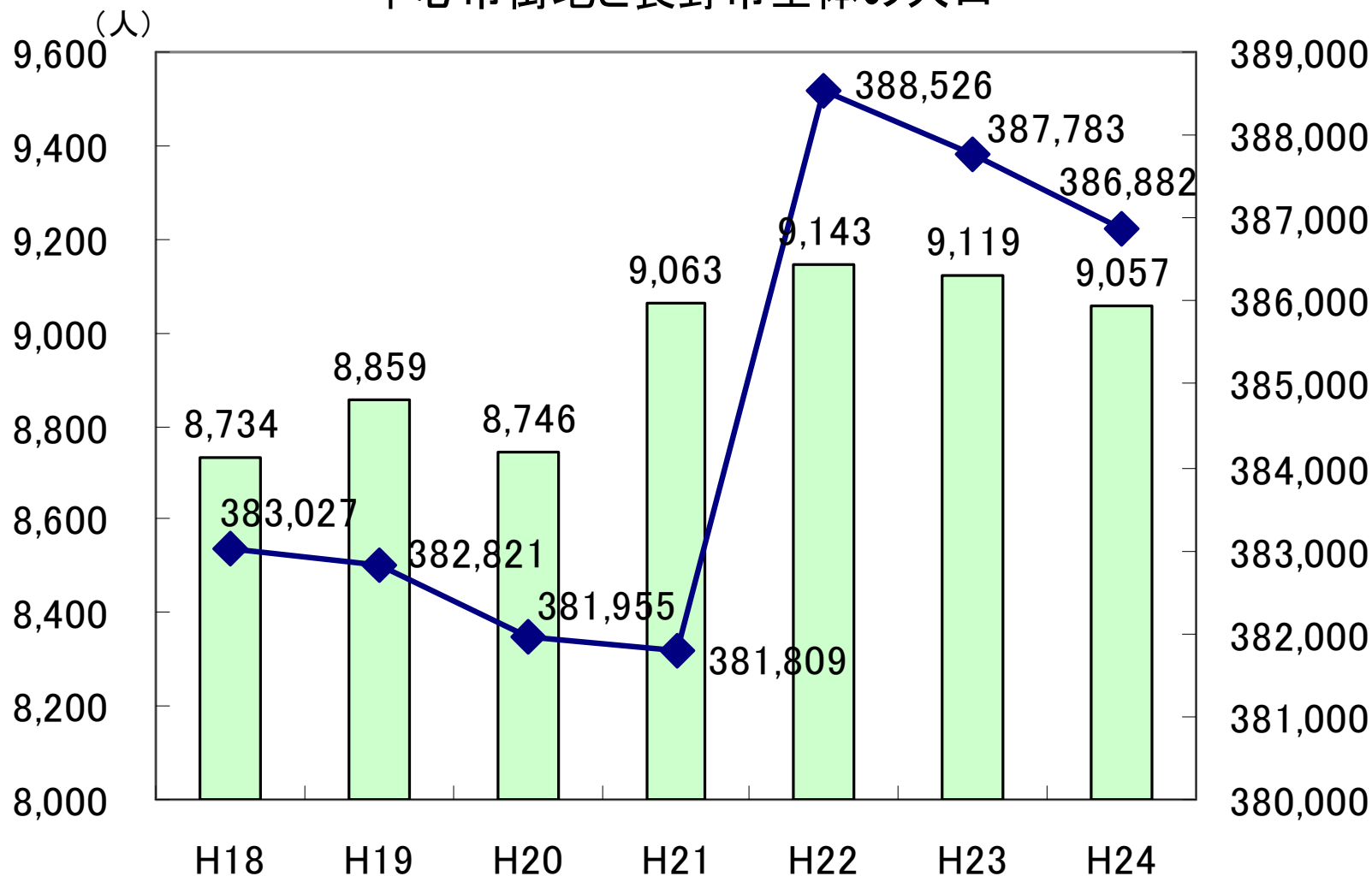


目標値  
(H28年度)  
485,000人

- ・もんぜんぷら座は、利用者30万人を維持するよう、引き続き利用環境を整備
- ・生涯学習センターは、大型イベントの減少が響いたが、利用者の利便性向上による増加を目指す

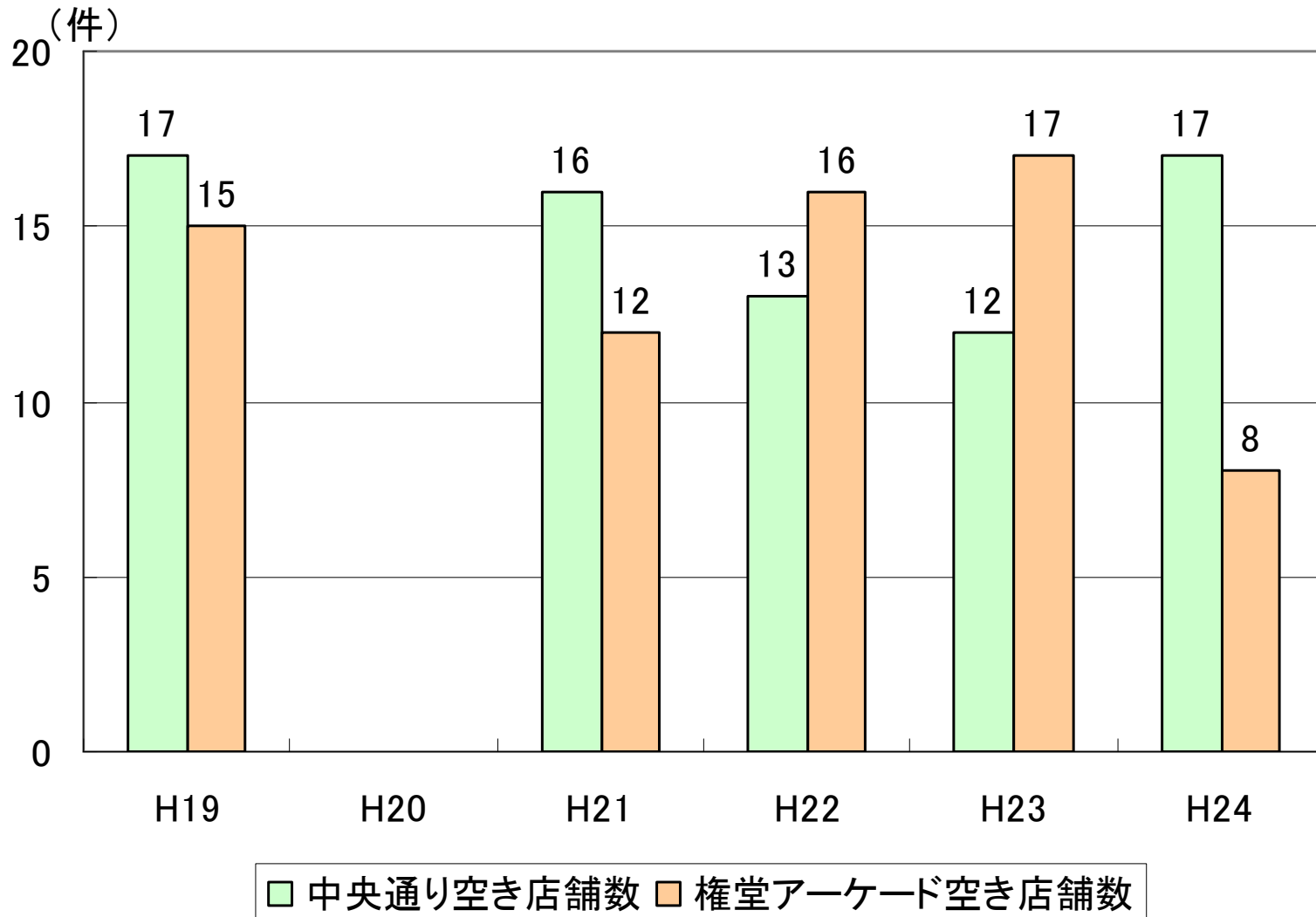
参考(目標②)

「中心市街地と長野市全体の人口



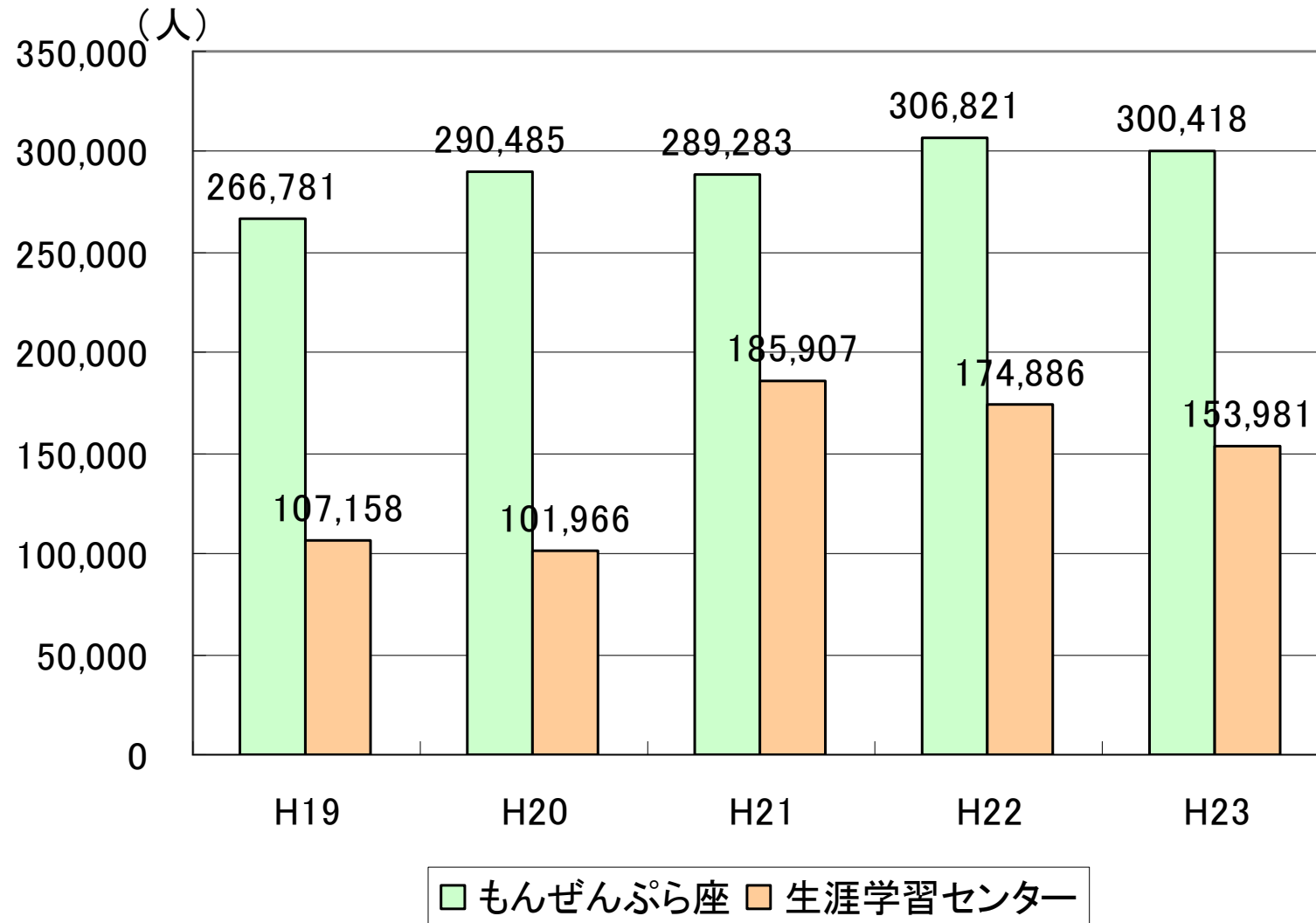
中心市街地人口 ◆ 長野市全体の人口

「空き店舗数の減少(件)」



参考(目標④)

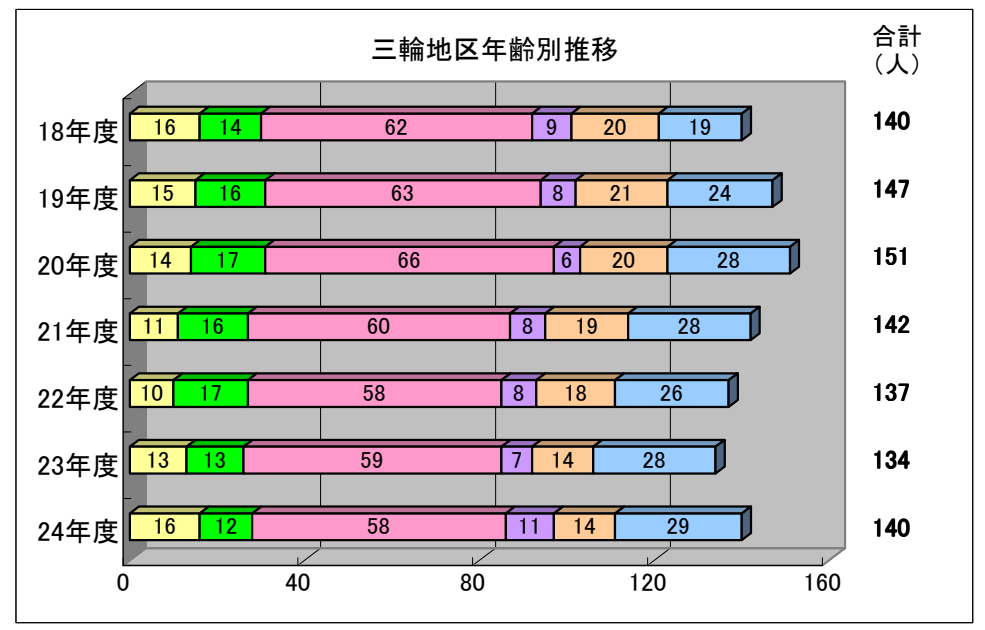
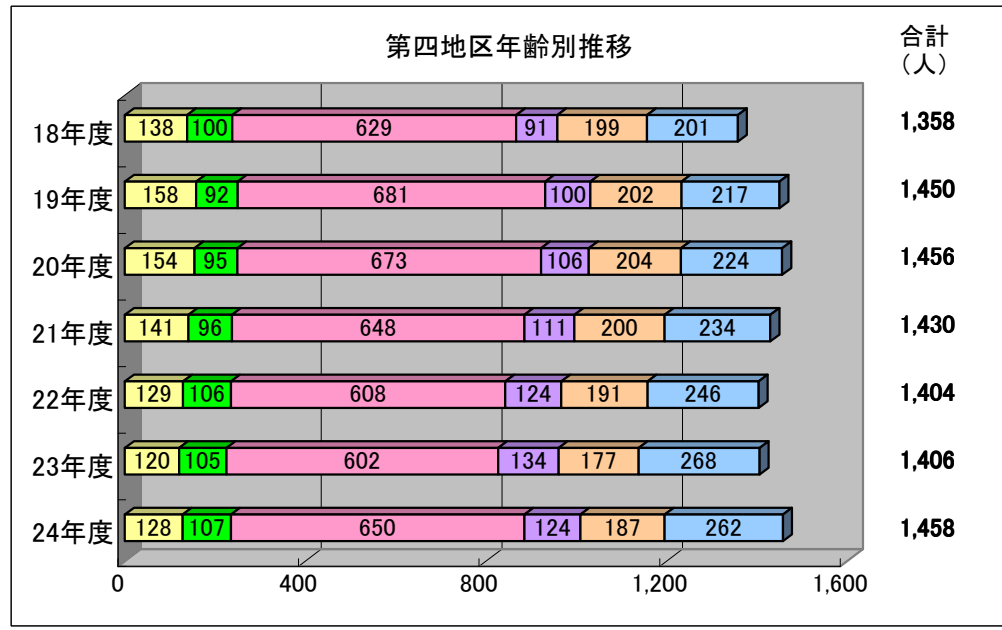
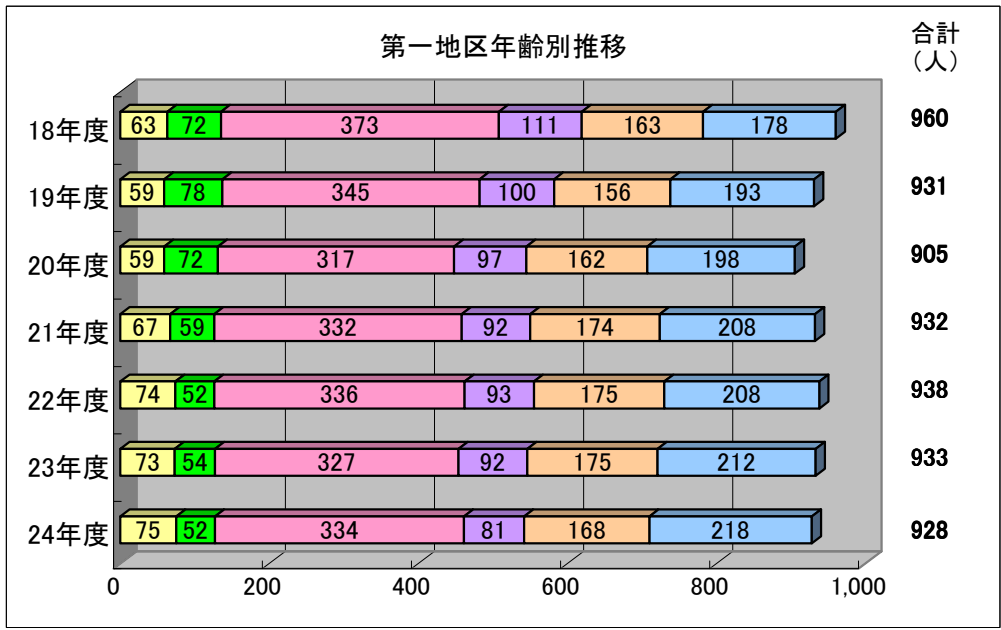
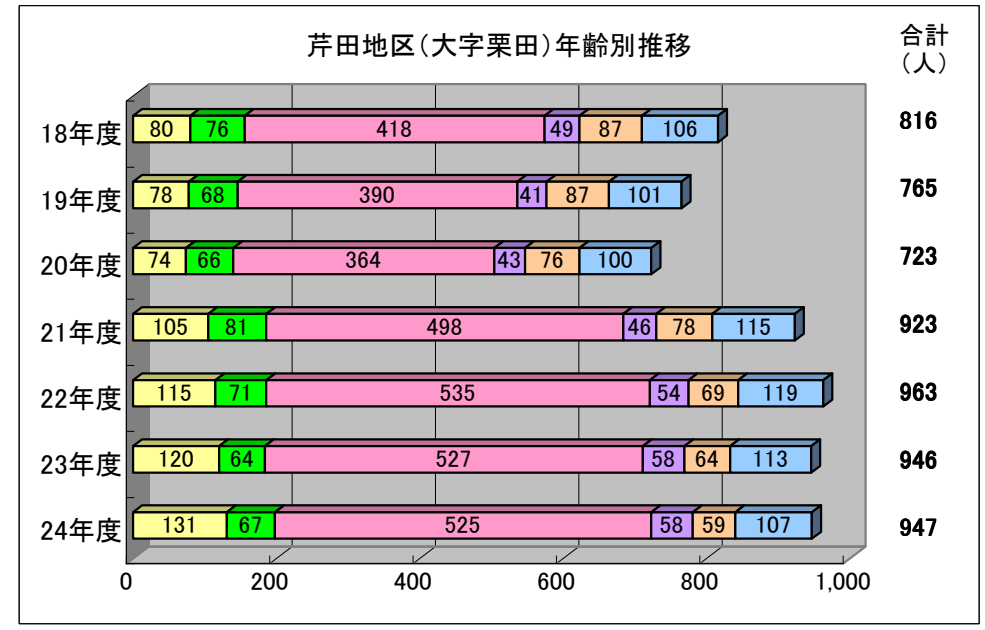
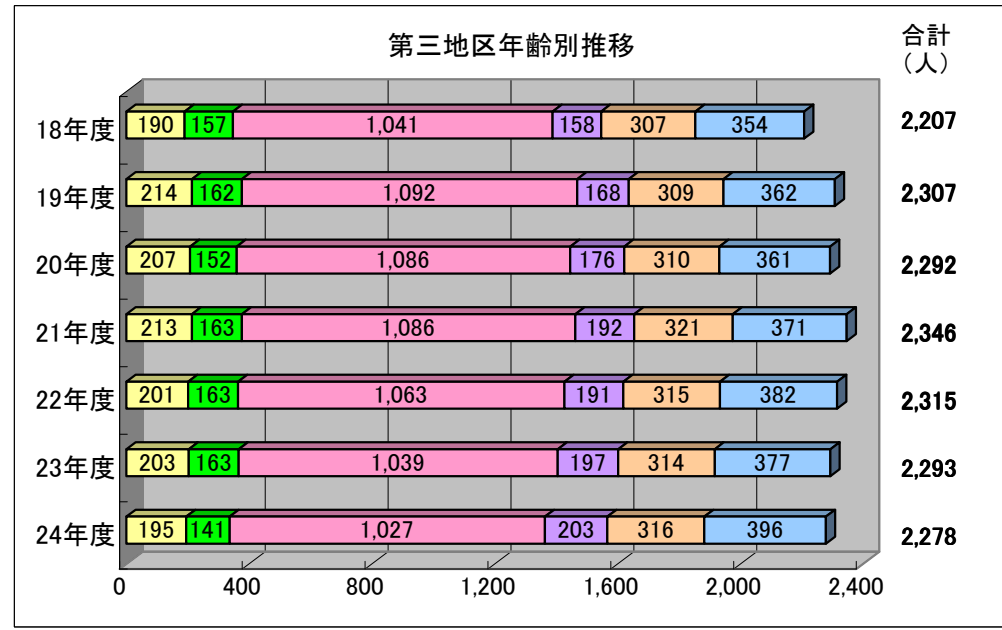
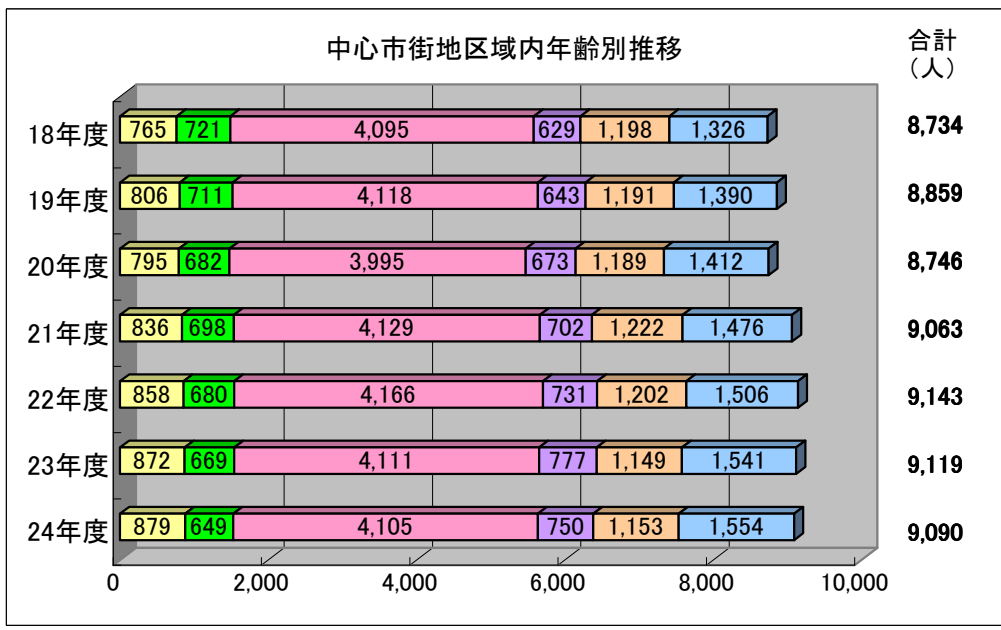
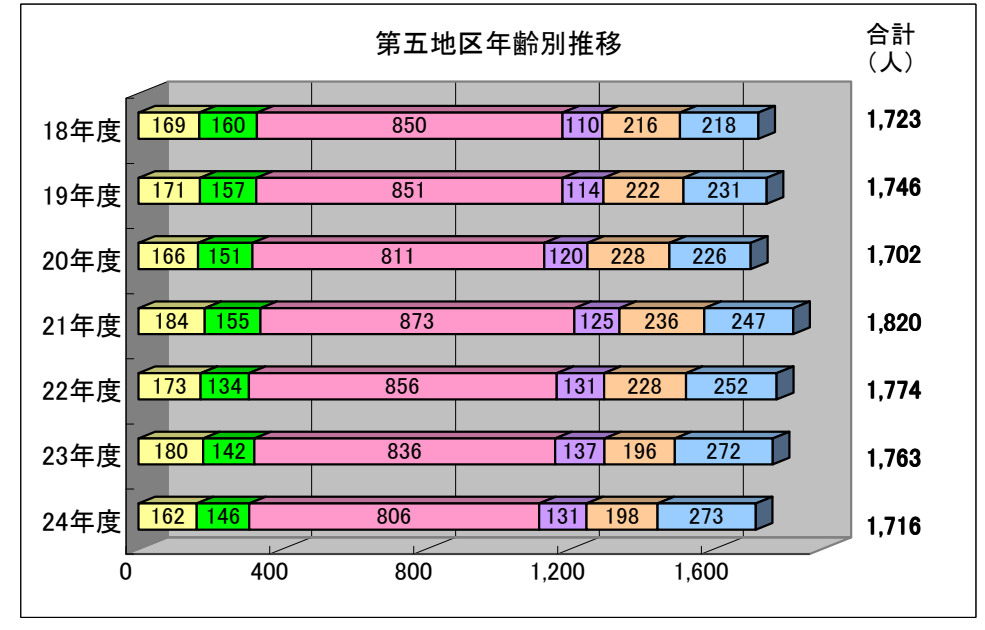
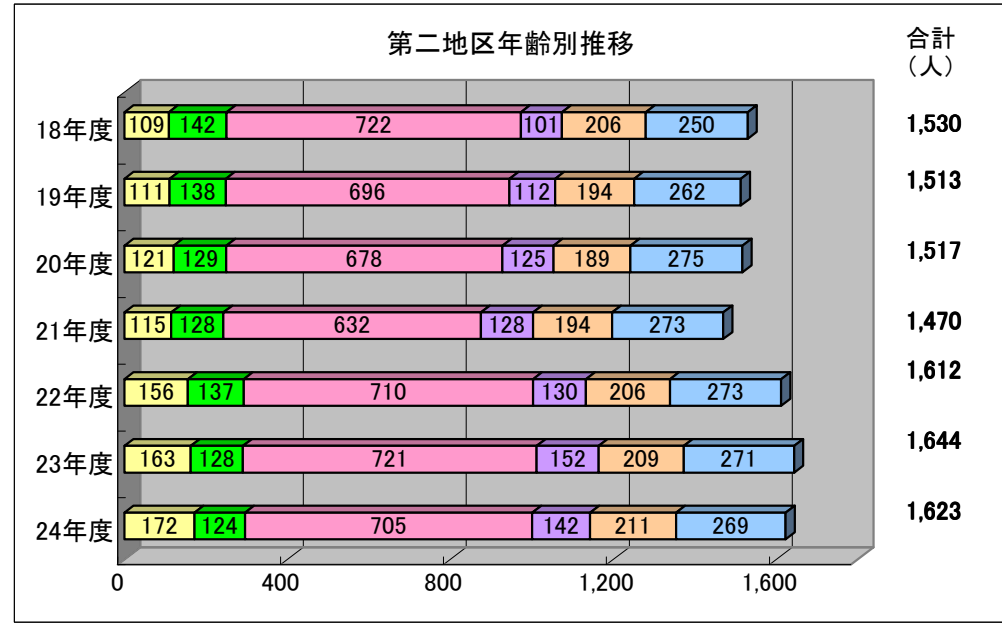
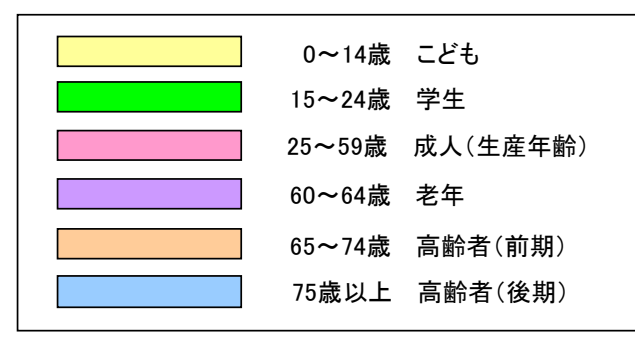
「もんぜんぷら座及び生涯学習センターの年間利用者数(人/年間)」





中心市街地居住者数 地区別、年齢別推移 (各年度4月1日現在の居住者数)

\* 数値は、サブ調査数値 = 中心市街地エリア内の居住者数



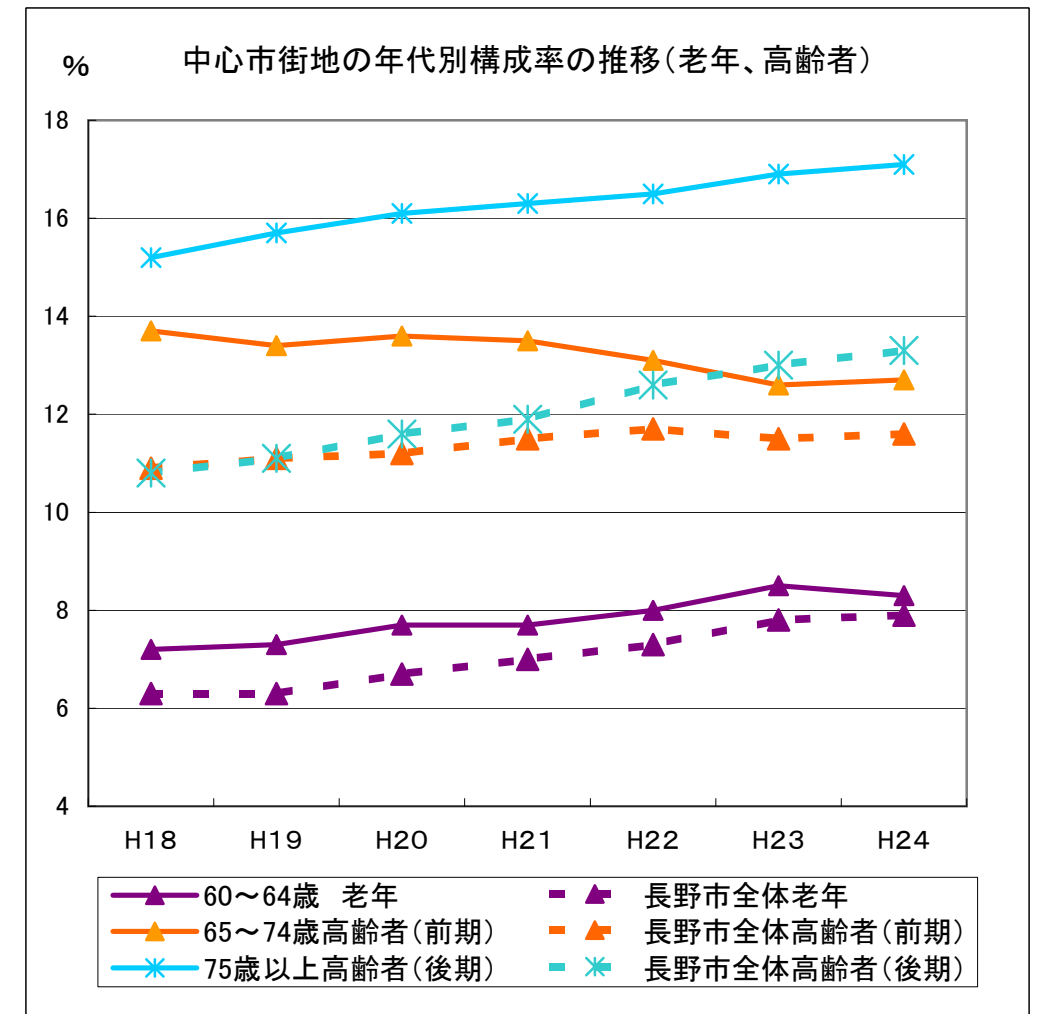
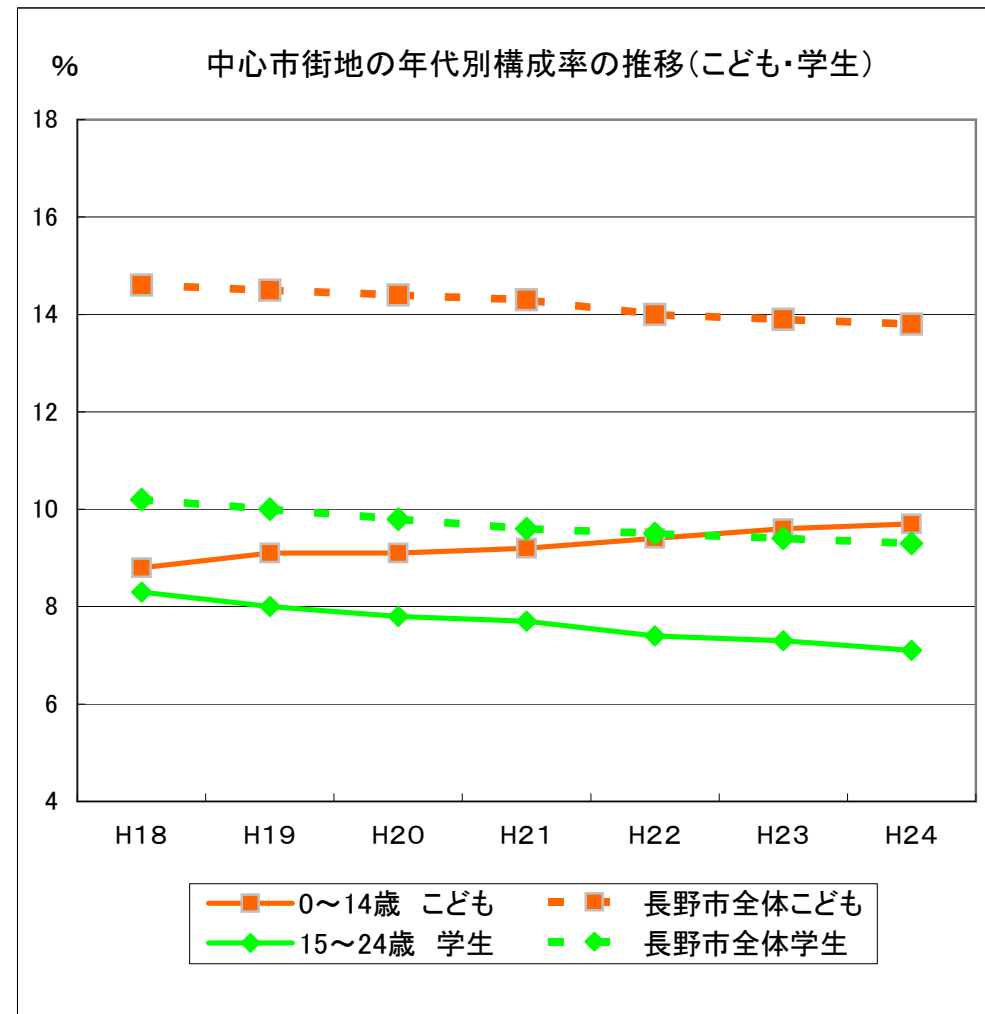
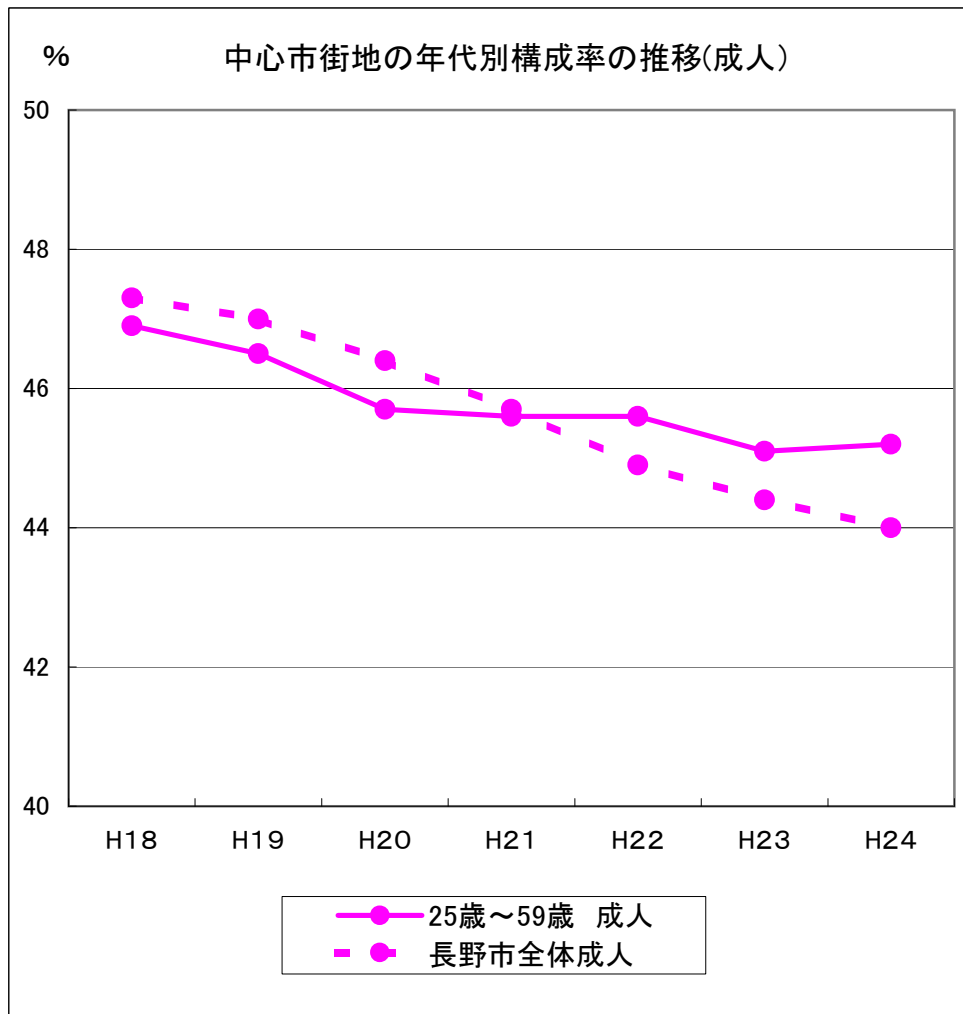
中心市街地、年齢別(高齢化率)推移

\* サブ調査数値 = 中心市街地エリア内の居住者数

(%)

	0～14歳 子ども		15～24歳 学生		25歳～59歳 成人		60～64歳 老年		65～74歳高齢者(前期)		75歳以上高齢者(後期)	
	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体	中心市街地	長野市全体
H18	8.8	14.6	8.3	10.2	46.9	47.3	7.2	6.3	13.7	10.9	15.2	10.8
H19	9.1	14.5	8	10	46.5	47	7.3	6.3	13.4	11.1	15.7	11.1
H20	9.1	14.4	7.8	9.8	45.7	46.4	7.7	6.7	13.6	11.2	16.1	11.6
H21	9.2	14.3	7.7	9.6	45.6	45.7	7.7	7	13.5	11.5	16.3	11.9
H22	9.4	14	7.4	9.5	45.6	44.9	8	7.3	13.1	11.7	16.5	12.6
H23	9.6	13.9	7.3	9.4	45.1	44.4	8.5	7.8	12.6	11.5	16.9	13
H24	9.7	13.8	7.1	9.3	45.2	44	8.3	7.9	12.7	11.6	17.1	13.3

— 実線 中心市街地の構成率  
 ..... 点線 長野市全体の構成率



【分析】

- ・老年、高齢者の比率は、長野市全体と比べて中心市街地の方が高い
- ・一方、子どもの比率は、長野市全体と比べて低い。他の年代と比較してもその差は大きい。
- ・長野市全体の成人の人口は減少傾向にあるが、中心市街地についてはほぼ横ばいであり、比率は長野市全体と比べて高くなってきている。
- ・長野市全体の子どもの人口は減少傾向であるが、中心市街地においては増加している

【検証】

- ・近年のマンション建設の結果、小さな子どもがいる世帯が増えたと推察
- ・また、高齢者においても、同様の理由により増加している
- ・学生の減少に関しては、高校を卒業し、大学進学等で市外に転出しているのではないかとと思われる